



第5回 日野川フォトコンテスト入賞作品 一般Aの部 「金賞」角田 敏明さん  
日野川（八幡橋付近）

## 水辺のウオッチング

- 表紙写真 「日野川の幻想～川霧」 -

水温と気温の差の大きい冬から春先にかけて、水面からまるで湯気が立っているように見える「川霧」。降雨の後、日野川八幡橋付近で川面に浮かぶ川霧を見つけた。立ち登る乳白色の水蒸気が日野川を優しく包み込んでいる。自然の織り成す感動の瞬間に思わずシャッターを切る。撮影できたのは5カット。幻想的な風景はほんの15分間の短いドラマだった。

## 日野川流域 ものい手帳

# 日野川、 もの知りさんに聞いてみよう・12

### ダム放流警報設備 ほうりゅうけいほうせつび

ダムからの放流によって川の水位が急に上昇するおそれのあるときには、川原にいる方やこれから川へ入ろうとしている方に対して、事前に身の危険をお知らせし、また速やかな避難を呼びかける必要があります。このため、ダム下流の川に沿って放流警報設備が配置されています。

警報は、周辺の気象、ダム放流、川の状況などを速く確実に伝えるため、ダム管理者自らが行うサイレン、警報スピーカーによる放送、警報車両によるパトロール・放送、警報表示などや防災無線放送のよつに地元の協力を得て行われるものがあります。

日南町にある菅沢ダムを例に見てみましょう。洪水を調節するためにダムから放流された水は、印賀川から日野川本川へ合流し下流へと向かいます。菅沢ダムから日野町根原に至る川沿いの8ヶ所にサイレンを鳴らしたり、スピーカーで放送する施設があります。サイレンは、風雨の中でも確実に聞こえるように、また時報や火災などと区別できるように、5秒間の休止をはさんで計5回鳴らされます。音がうるさいとか、何の音か、という話も耳にしますが、沿川住民の方や河川利用者などの身に、もしもことがないように行っているものです。

また、国道180号や川岸には、電光式のダム情報表示設備が目にとまります。サイレンなどの音だけでなく、目でも川の危険が、わかるような情報を表示するために設置されています。情報は、ダムの放流に関するものだけでなく、上流の雨や川の水位の状況などさまざまで、文字や絵を交えてわかりやすく提供されます。雨が強くなり、川の増水が心配な時には、この表示板で状況を確認されるのも手でしょう。

おまけですが、インターネットパソコンやエモード携帯電話をお持ちの方ならどなたでも、日本全国の雨量や河川水位、ダム情報を知ることができます。キャンプや釣りなどにおでかけの際には役立ちますよ。

アドレス

パソコン <http://www.river.go.jp/>

携帯電話 <http://river.go.jp/>



ダム放流警報所（日野町中菅）



ダム情報表示設備（日野町福長）